



# いい顔 いい声 いい動き

## 粘り強く解決し、学びを深める明倫っ子

今年度、本校は、算数科の研究に取り組んでいます。「粘り強く解決し、学びを深める児童の育成」を研究主題とし、研究主任の小川幸子先生を中心に、算数科の授業を通して、子ども達の育成に努めています。

その研究の一環として、6月3日（水）に2年1組で、算数科の研究授業を行いました。1桁＋2桁の計算方法を真剣に考え粘り強く解決する姿に感心しました。担任の小川先生の話をもとに右の写真のようにしっかり聞き、まずは一人で考えた後、友だちと意見交換をし、学級全体で、問題を解決していきました。（通常の授業でも、新型コロナウイルス感染予防の為、話し合いの時間は、短時間で行っています。）



また、算数科の研究を進めるにあたり、子ども達の意識を高める為に、学校の環境整備にも力を入れています。

なお、下の写真は、階段と踊り場、掲示コーナーにおける算数科の掲示物です。算数科の少人数担当者の橋村徳之先生、諸石順子先生、級外の光武葉子先生が力を合わせて作成してくれました。

子ども達が、掲示物の答えをめくりながら、「ヤッター！当たった！」と喜んで見ると嬉しくてたまりません。これらの掲示物により、算数科への関心をさらに高めてくれることを心から願っています。



## 残念、でも我慢

昨年度末から新型コロナウイルスの影響で、全世界に激震が走っています。学校教育も模索の日々の連続です。今年度は、鹿島市内の小中学校における水泳の授業は行わないという通知が届きました。水泳の授業において、新型コロナウイルス感染防止のための指導や管理が難しいという判断の結果です。

子ども達は、水泳の授業を楽しみにしていたと思いますが、現在の状況では致し方ありません。かわいそうですが、来年度の水泳の授業を楽しみにして、我慢してほしいと思います。

